

安全データシート

CESボント N7000TF

1/5
整理番号: CRC221107
作成日: 2024.1.20
改定:

1. 製品及び会社情報

化学品(製品名)の名称 : CESボント N7000TF
供給者の会社名称 : 中央樹脂ケミカル株式会社
住所 : 〒111-0054 東京都台東区鳥越1-29-6
担当部門 : 品質保証部門
電話番号 : 03-3851-2324
FAX番号 : 03-3851-2326
緊急連絡先電話番号 : 03-3851-2324
推奨用途 : 一般工業用途/接着剤
使用上の制限 : 所定用途以外に使用しないこと。

2. 危険有害性の要約

最重要危険有害性及び影響

化学品の GHS分類

物理化学的危険性

引火性液体 : 区分2

健康に対する有害性

急性毒性 経口 : 区分に該当しない
経皮 : 分類できない
吸入(ガス) : 区分に該当しない
吸入(蒸気) : 区分4
吸入(粉塵及びミスト) : 区分に該当しない
皮膚腐食性/皮膚刺激性 : 区分2
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : 区分2A
呼吸器感受性 固体、液体 : 分類できない
気体 : 分類できない
皮膚感受性 : 区分に該当しない
生殖細胞変異原性 : 区分に該当しない
発がん性 : 区分に該当しない
生殖毒性 : 区分1A
(追加区分) 授乳に対する又は授乳を介した影響
特定標的臓器毒性 (単回暴露) : 区分2(血管)・3(麻酔作用・気道刺激性)
(反復暴露) : 区分1
誤えん有害性 : 区分1

環境に対する有害性

水生環境有害性
短期(急性) : 区分1

オゾン層への有害性 : 分類できない

※上記で記載がない危険有害性は、区分に該当しない又は分類できない。

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語
危険有害情報

H225 引火性の高い液体及び蒸気
H303 飲み込むと有害の恐れ
H304 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険の恐れ
H315 皮膚刺激
H319 重篤な眼の損傷
H335 呼吸器への刺激のおそれ。
H336 眠気又はめまいのおそれ。
H360 生殖能または胎児への悪影響の恐れ
H362 授乳中の子に害を及ぼす恐れ
H370 臓器の障害(中枢神経系)
H371 臓器の障害の恐れ(血液)
H401 水生生物に毒性

注意書き

(安全対策)

- P201 仕様前に取扱説明書を入手すること。
 P202 全ての安全注意を読み理解するまでは都営扱わないこと。
 P210 熱、高温のもの、火花、裸火、及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
 P233 容器を密閉しておくこと。
 P240 容器を設地しアースを取ること。
 P241 防爆型の電気器具、換気装置、照明機器を使用すること。
 P242 火花を発生させない工具を使用すること。
 P243 静電気放電に対する措置を講ずること。
 P260 粉じん、煙、ガス、ミスト、蒸気、スプレーの吸入しないこと。
 P264 取扱後は手を良く洗うこと。
 P270 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
 P271 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
 P272 汚染された作業着は作業場から出さないこと。
 P273 環境への放出を避けること。
 P280 保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。

(応急措置)

火災の場合:

- P370 消火するために、粉末消火剤、耐アルコール性泡消火器または二酸化炭素を使用すること。

飲み込んだ場合:

- P310 直ちに医師に連絡すること。

眼に入った場合:

- P310,351,338 水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを使用していて容易に外せる場合は外すこと。直ちに医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合:

- P361 汚染された衣類を直ちに全て脱ぐこと。
 P352 多量の水と石鹼で洗うこと。
 P313 医師の診断手当を受けること。

吸入した場合:

- P340 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
 P308,P310 暴露または暴露の懸念がある場合、医師に連絡すること。

(保管)

- P403 換気の良い場所で保管すること。
 P233 容器を密閉しておくこと。
 P405 施錠して保管すること。

(廃棄)

- P501 内容物、容器を地方、国の規則に従って廃棄すること。

3. 組成、成分情報

単一化学物質・混合物の区別 : 混合物

組成及び成分情報

化学名又は一般名	CAS No.	化審法番号	安衛法	含有量(Wt%)
クロロブレンゴム	非公開	—	—	15～20
合成樹脂	非公開	—	—	5～10
可溶化溶剤	非公開	—	—	20～30
シクロヘキサン	110-82-7	(3)-2233	公表化学物質	30～40
MMA	80-62-6	—	—	5～10
合計(%)				100.00

4. 応急措置

吸入した場合：

空気の新鮮な場所に移し、気分がすぐれない場合は医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合：

水でよく口の中をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

直ちに医師の診断手当てを受けること。

眼に入った場合：

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズは固着していない限り取り除いて洗浄する。

直ちに医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合：

直ちに汚染した着衣はすべて脱ぐこと。

皮膚を多量の水と石鹸で洗うこと。

皮膚刺激又は発疹が生じた場合、直ちに医師の診断手当てを受けること。

応急措置をする者の保護：救助者は、状況に応じて適切な眼、皮膚の保護具を着用する。

医師に対する特別な注意事項：状況に応じSDSを提示する。

5. 火災時の措置

適切な消火剤：

炭酸ガス、泡消火器、粉末消火器、乾燥砂

使ってはならない消火剤：

水（火災が周辺に広がる恐れがあるため、直接の注水避ける）

特有の消火方法：

付近の着荷原を断ち、保護具を着用して風上から消火する。

延焼の恐れのないよう水スプレーで周囲のタンク、建物等の冷却をする。

危険でなければ火災区域から容器を移動する。

消火を行う者の保護：

適切な自給式の呼吸器用保護具、眼や皮膚を保護する耐熱性保護服を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

・関係者以外の立ち入りを禁止する。

・作業の際は、適切な保護具（「8. ばく露防止及び保護措置」の項を参照）を使用する。

環境に対する注意事項

・付近の着火源、高温体及び可燃物を速やかに取り除く。

・河川等の公共水路に流出した場合には、直ちに地方自治体の公害担当者に報告する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

・漏出物は乾燥砂、土等の不燃性の物に吸収させ、密閉可能な容器に回収し、安全な場所に移す。

・付着物、廃棄物などは、関係法規に基づいて処置をする。

二次災害の防止策

・着火した場合に備えて、粉末又は泡消火器を準備する。

・大量に流出した時は、盛り土で囲って公共水路への流入を防止する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策：「8.ばく露防止及び保護措置」に記載の措置を行い、必要に応じて保護具を着用する。

安全取扱注意事項：容器はその都度密栓する。
周辺での火気、スパーク、高温物の使用を禁止する。
作業中は帯電防止の作業服、靴を着用する。
静電気対策のため装置等は接地し、電気器具類は防爆型を使用する。

接触回避：「10. 安定性及び反応性」を参照。

衛生対策：取扱後は良く手を洗うこと。

保管

技術的対策：通風の良い屋内に容器を密閉して保管する。

混触禁止物質：通常の条件では無し。

保管条件：直射日光を避け、冷暗所に保管する。高温物を近づけない。

容器包装材料：破損や漏れのない密閉可能な金属容器を使用する。

8. ばく露防止及び保護措置

含有成分の有害性及び暴露濃度基準

	管理濃度ppm	日本産術学会ppm	ACGIH(TLV)ppm
シクロヘキサン	設定されていない	150	100
保護措置			
設備対策	取扱う作業場の近くに、手洗い・洗眼器と安全シャワーを必要に応じて設置する。 屋内作業場で使用の場合は、発生源の密閉化又は換気装置を設置する。		
保護具	呼吸用保護具	： 必要に応じて保護マスクや呼吸用保護具を着用する。	
	手の保護具	： 手に接触する恐れがある場合、耐溶剤性保護手袋を着用する。	
	眼の保護具	： 眼に入る恐れがある場合、保護眼鏡やゴーグルを着用する。	
	皮膚及び身体の保護具	： 必要に応じて保護衣、保護エプロン等を着用する。	

9. 物理的及び化学的性質

混合物

物理的状態、色	： 淡黄色液体
臭い(閾値)	： 溶剤臭(データなし)
沸点又は初留点及び沸騰範囲	： >77℃
可燃性	： データ無し
爆発限界及び爆発上限/可燃限界	： (下限)1.1vol% (上限)7.1vol%
引火点	： -18℃
自然発火点	： 245℃
分解温度	： データ無し
PH	： データ無し
動粘性率	： データ無し
蒸気圧	： データ無し
密度及び/又は相対密度	： データ無し
早退ガス密度	： データ無し
粒子特性	： データ無し

10. 安定性及び反応性

反応性、化学的安定性	： 通常の取り扱い条件下では安定である。
危険有害反応可能性	： 通常の取り扱い条件下では危険有害反応を起こさない。
避けるべき条件	： 加熱、直射日光。
混触危険物質	： 特に情報は得られていない。
有害な分解生成物	： 燃焼などにより、CO,CO ₂ 等

11. 有害性情報

製品の有害性情報:情報なし
成分の有害性情報:

急性毒性(経口)	ラットLD ₅₀	1200mg/kg	区分4
急性毒性(経皮)			区分に該当し
急性毒性(吸入)	蒸気		区分に該当し
皮膚腐食性/皮膚刺激性			区分2
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性			区分2A
生殖毒性			分類できない
特定標的臓器毒性(単回暴露)	中枢神経系		分類できない
	気道刺激		区分3
	麻酔作用		区分3
	血管系		区分2
特定標的臓器毒性(反復暴露)	中枢神経系		分類できない
	腎臓、肝臓		分類できない
誤えん有害性			分類できない

12. 環境影響情報

製品の環境影響情報

生態毒性	: 混合物として知見無し
残留性・分解性	: 混合物として知見無し
生体蓄積性	: 混合物として知見無し
土壌中の移動性	: 混合物として知見無し
オゾン層への有害性	: 混合物として知見無し
残余廃棄物	: 廃棄においては、関連法規規制並びに地方自治体の基準に従うこと。 都道府県などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、又は地方公共団体が廃棄物処理を行っている場合はそこに委託して処理する。
汚染容器及び包装	: 容器は洗浄してリサイクルするか、関連法規規制並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	: 産業廃棄物として許可を受けた専門業者に委託する。
汚染容器・包装	: 産業廃棄物として許可を受けた専門業者に委託する。
その他	: 廃棄物の処理及び清掃に関する法規制の定めるところに従う。

14. 輸送上の注意

国連番号	: UN1133
国連品名	: 接着剤
輸送における危険物有害性クラス	: クラス3
容器等級	: II
緊急時応急処置指針番号	: 128
特別の安全対策	: 容器に漏れがないことを確かめ、転倒、落下、損傷の無いように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。火気厳禁。その他、消防法船舶安全法等の法令の定めるところに従う。

15. 適用法令

労働安全衛生法	: 第 57 条第 1 項 名称等を表示すべき有害物(シクロヘキサン) 第 57 条第 2 項 名称等を通知すべき有害物(シクロヘキサン)
有機溶剤中毒予防規則	: 該当せず
PRTR法	: 通知対象化学物質 シクロヘキサン
消防法	: 危険物第4類第一石油類(非水溶性液体)(危険等級Ⅱ)
船舶安全法	: 引火性液体(引火点23℃未満)
その他	: 地域の法規制の定めるところに従う。

16. その他の情報

参考資料	: 原材料メーカーの安全データシート NITE GHS分類結果一覧 化学物質規制管理実務便覧(新日本法規) 厚生労働省「職場の安全サイト」
------	--

【注意】

このSDSは現時点で入手できる資料、情報、データにもとづいて作成しておりますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。
また注意事項は通常の取り扱いを対象としたものであるので、特殊な取り扱いの場合には、用途、用法に適した十分な安全対策を実施の上、お取り扱い願います。